



【コレクション展Ⅲ】
没後5年 菊畑茂久馬
 1月31日(土)～5月6日(水・振休)

前衛美術集団「九州派」の主要メンバーとして全国的な注目を集め、反芸術の旗手として活躍した菊畑茂久馬を特集する。

菊畑茂久馬《天動説三》1983年 当館蔵

北九州芸術祭総合美術展

9部門(洋画・彫刻・書道・写真・水彩画・
 帆船模型・日本画・水墨画・染織)

3月31日(火)～4月19日(日)

《本館企画展示室》洋画・彫刻・書道・写真・水彩画・帆船模型
 《黒崎市民ギャラリー》日本画・水墨画・染織

北九州で文化活動をされている方々の作品を展示。



日本近代洋画への道 山岡コレクションを中心に

4月29日(水・祝)～6月21日(日)

笠間日動美術館所蔵品から、初期洋画の宝庫と評される山岡コレクションを中心に、高橋由一、黒田清輝、藤島武二、青木繁ら、日本洋画の礎を築いた巨匠たちの作品を展示し、日本近代洋画の歩みを振り返る。

高橋由一《鮭図》1879-80年 笠間日動美術館蔵(山岡コレクション)

【コレクション展Ⅰ】
**特集 青柳喜兵衛
 玉葱の画家の軌跡**
 5月16日(土)～8月16日(日)



玉葱の芽に自らの成長を重ね、身近で大切なものを描き続けた早世の画家・青柳喜兵衛。昭和初期を駆け抜けた彼の画業を回顧する。

青柳喜兵衛《坊也重心》1936年 当館蔵

井手康人展—共鳴する祈り

7月11日(土)～8月30日(日)

北九州市出身の井手康人は、インドネシア・バリ島に魅了され、幻想的な独自の世界観を展開する日本画家。日本美術院の同人であり、本展では数々の大作や受賞作のほか、長年のライフワークである教育普及活動を紹介する。

井手康人《海乃神》2022年 足立美術館蔵



【コレクション展Ⅱ】
特集 フォトグラフ ゲスト展示：guest room 011 阿部幸子
 8月29日(土)～12月27日(日)

近年新収蔵した石川直樹、四宮佑次、藤原新也らによる写真作品をはじめ、写真を切り口に所蔵品を紹介する。

THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦

9月12日(土)～11月8日(日)

「新版画」を牽引した渡邊版画店(現・渡邊木版美術画舗)初代店主・渡邊庄三郎。本展では、残存数が少ない貴重な初摺の渡邊版をとおり、渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどりながら、モダンな精神に彩られた「新版画」の魅力に迫る。

2026 4
 10
 展覧会スケジュール

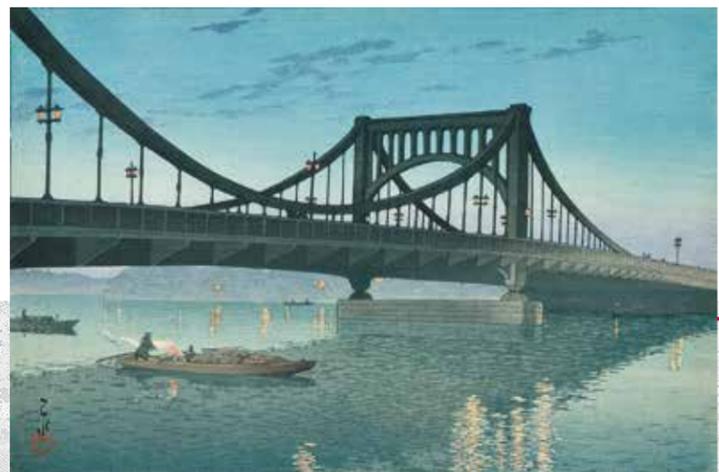
5
11

6
12

7
1
2027

8
2

9
3



THE 新版画
版元・渡邊庄三郎の挑戦
 9月12日(土)～11月8日(日)

川瀬巴水《清洲橋》昭和6年(1931) 渡邊木版美術画舗版 渡邊木版美術画舗蔵

第81回 県展

11月18日(水)～20日(金) 洋画・書の2部門を展示。
 11月22日(日)～23日(月・祝) 日本画・彫刻・写真・工芸・デザインの5部門を展示。

第60回 北九書の祭典

11月26日(木)～29日(日)



【コレクション展Ⅱ】
特集 フォトグラフ
 ゲスト展示：guest room 011 阿部幸子
 8月29日(土)～12月27日(日)

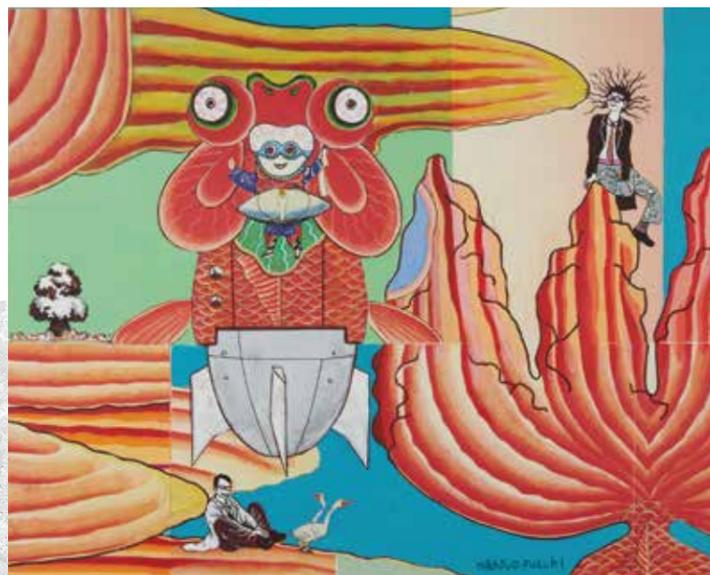
石川直樹(KITAKYUSHU) 2008年 当館蔵



阿部幸子 Photo by Gen Sasaki

大・松尾スズキ展(仮称)

2026年12月15日(火)～
 2027年2月21日(日)



作家、演出家、俳優などマルチに活躍する松尾スズキが、これまで描きためていた絵画作品やイラストに新作を加えた約300点を故郷の北九州市で初お披露目。いざ、松尾スズキの脳内観光へ!

松尾スズキ《ふくすけ2024》2024年 作家蔵 ©松尾スズキ

【コレクション展Ⅲ】
特集 展覧会をひらく

2027年1月23日(土)～5月5日(水・祝)

展覧会の開催前後におこなわれる作品の収集、調査研究、展示作業。コレクション形成の背景や展示の仕方から、文字通り絵画の裏側まで、展覧会の見えない部分をひらく。

エドガー・ダガ《マネとマネ夫人像》1868-69年(表・裏面) 当館蔵



※絵画の裏面は画像での展示を予定